

# 野平 一郎

受賞教員インタビュー 第7回

ピアニスト、作曲家、静岡音楽館芸術監督、そして  
藝大教員としての活動に対して紫綬褒章を受章。



Photo by Hiroaki Horiguchi

## 教員として若者と接する

紫綬褒章は、功成り名を遂げた  
ある程度年配の芸術家の方がい  
ただくものと思っていました。です  
から自分はまだ道半ばという気持

ちがありましたもので、まさに  
寢耳に水、受章は思ってもみませ  
んでした。

藝大の教員としては二〇〇二  
(平成十四)年にいったん職を辞し  
たことがあります。最初のうちは

ともかく、学生との接  
触が希薄になると、若  
い世代がどういった曲  
を作っているか聴く機  
会が少なくなりさび  
しく感じたのです。大  
学の現場で、学生がど  
んな活動をしているか  
知りたいと思ったこと  
も、復職した動機のひ  
とつです。作曲には、  
閃きが重要だという  
イメージがあるかもし  
れないけれど、自分が  
毎日どんなふうにし  
きているかにかかわる  
表現行為だと思うの  
です。音楽自体にかぎっても、藝大  
生は勉強することがいくらでもあ  
るので、そういうところでもお手  
伝いできるかなということをやっ  
てきました。

音楽は総合的なものだと思う。

## 第26号 目次

02 受賞教員インタビュー 第7回

野平 一郎

geidai gallery vol.6

東谷武美 日蝕F

06 教員は語る 第18回

小沢 剛×坂井千春

09 受賞学生インタビュー 第9回

山田 紗子 平川加恵 鶴岡慧子

12 TOPICS

美旬 音旬 映旬

20 卒業生に聞く。 第5回

山口 晃

22 研究室探訪 第5回

音楽学部声楽科・大学院音楽研究科声楽専攻

24 上野の寄り道 散歩道 第7回

寛永寺

26 上野の杜の波瀾万丈 第15回

東京音楽学校邦楽科への長い道のり 後篇

橋本久美子

28 展覧会 & 演奏会情報

夏目漱石の美術世界展

藝大21「奏楽堂企画学内公募」企画

30 NEWS 2012.08 ~ 2013.01

編集後記

コンセプトはおもしろいけれど聴いたらつまらないということもありうるし、いろいろな力が同時に育ってこないといけない。そういう意味では藝大生は環境がいいし、恵まれていると思う。人が他人に出会い影響を受けるというのは、これまでやってきたことに対する疑問が芽生えるということではないでしょうか。藝大はそういう場としてこれからも機能していつてほしいと思います。

## 思想のない演奏会はつまらない



現在は演奏会が、年に小さいものを含め平均四十回、CDを三枚くらいが演奏家としての活動ベースです。ソロは年間に十回前後で、室内楽や指揮の活動も増えてきました。演奏回数は減ってきましたけれど、ヨーロッパの同時代の作品や仲間の作品を紹介する機会、日本初演、世界初演といった重要な演奏会が多い。でも新しいレパートリーを開拓しないと音楽家としては死んでしまう。

静岡音楽館AOOは一九九五（平成七）年にできた静岡市民の

ための音楽施設で、藝大の恩師だった間宮芳生先生が初代の芸術監督。ぼくは十年間企画委員として、主催公演のプログラミングをやってきました。その後間宮先生の後を継いだのですが、非常にもしろいい重要な仕事です。なぜかといえばコンサートを作るというのは、作品を作ることと一緒に自分の考えを反映させることができるからです。かといって自分ばかり押しつけてもお客さんが離れてしまう。

演奏会にはまず若い人たちに来てほしい。コンサートに来る人が高齢化していることに、大きな危惧を抱いています。世代の継承がホールとして取り組まなければいけない最も重要なことなのです。ジャンルにも拘らず現代曲もあれば、ジャズもやるし、邦楽や民族音楽もやる。そういう企画にこそ若い人に来てもらいたい。企画のない音楽会、思想のない音楽会はあるとうにつまらない。

ぼくは活動の幅が広がることを抑制せず、音楽をいろいろな点から見ていこうとしてきました。こういうあたりかたはこれから変わることはないと思います。

藝大通信  
No.26  
TOKYO GEIDAI  
東京藝術大学広報誌  
藝大通信 第26号

### 編集発行

東京藝術大学 藝大通信編集部

### 編集委員

松下 計（美術学部デザイン科准教授・編集長）

斎藤典彦（美術学部絵画科日本画教授）

小鍛冶邦隆（音楽学部作曲科教授）

毛利嘉孝（音楽学部音楽環境創造科准教授）

筒井武文（大学院映像研究科映画専攻教授）

大石 泰（演奏芸術センター准教授）

アートディレクター

松下 計

表紙デザイン

松下 計

表紙撮影

堀口宏明

撮影

堀口宏明

永井文仁（美術学部附属写真センター）

制作

株式会社 平凡社

発行日

平成二十五年三月十日

### お問い合わせ先

東京藝術大学 総務課

〒101-8704 東京都台東区上野公園12-18

電話 050-5555-2026

FAX 03-5685-7760

E-mail toiwase@ml.geidai.ac.jp

URL <http://www.geidai.ac.jp/>

野平一郎（のだいら・いちろう）教授―音楽学部作曲科一九五三年生まれ。一九七六年東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。七八年東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程作曲専攻修了。一九九〇年～二〇〇二年東京藝術大学音楽学部助教授、〇九年～一〇年東京藝術大学音楽学部准教授、一〇年～東京藝術大学音楽学部教授。二〇〇五年～静岡音楽館AOO芸術監督。二〇〇四年第三回サントリー音楽賞、〇五年第五回芸術選奨文部大臣賞、一〇年静岡県文化奨励賞。個人Webサイト

<http://ichironodaira.com/j/>